

どなたでもご参加  
いただけます！

# 封鎖、コロナ、空爆 ガザに生きる女性たちの闘い

申し込み用 QR コード



## 子どもたちの健康を自らの手で守る！

講師・山村順子さん

(特非) 日本国際ボランティアセンター・パレスチナ事業 現地駐在員  
2006 年度本学文理学部社会科学科(経済学・国際関係論コース) 卒業



現地と結んで！

日時：7月2日(金) 19:00-20:30 (ZOOM 会議方式)

申込みは7月1日(木)中にQRコードからお願いします。問合せ先：経済学専攻オフィス [economics@office.twcu.ac.jp](mailto:economics@office.twcu.ac.jp)。

パレスチナのガザ地区は、70年におよぶイスラエルによる占領と封鎖に苦しみ、昨年からはコロナ禍に見舞われ、今年5月はイスラエルによる激しい空爆にさらされました。保守的な風土にコロナ禍が追いつちをかけ、女性が家から出られない時期もあった中、JVC(日本国際ボランティアセンター)と地元のNGO、AEI: Ard El Insan(アル・デル・インサーン)が取り組んできた地域保健促進員(ボランティア)の育成、そして、保健師と地域保健促進員が実施する家庭訪問による母子保健・栄養・子育てに関する教育が、コロナ対策を含めた女性たちの知識・情報へのアクセスと交流のかけはしになっています。本講演会では、この事業を担当されてきた山村順子さんに、占領・封鎖下のガザにおける人々の生活と、この取り組みによって女性たちがどのように自信をつけていったかについて、現地からお話いただきます。



山村順子さん



子どもの栄養改善活動 写真提供：JVC



爆撃された建物 Before & After